



小学部、中学部、高等部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

春からは、新しいステージに進み、一步ずつ、ステップアップしていったほしいと思います。応援しています！！



各学部の進路に関する学習

本校児童生徒は、将来、社会生活を送る上で必要な力を身に付けられるように、日々、学習に励んでいます。今回は、各学部で取り組んでいる進路学習について紹介します。

小学部の取組

中学部に向けた学習

小学部6年生は、中学部進学に向けて、中学部体験を行っています。

作業学習見学を11月に行い、1月に作業学習体験を行いました。1月の体験は保護者の方も参観し、中学部の学習の様子を見ていただきました。

上級生の様子を見たり、作業内容の説明を聞いたりしたことで、「ぼく、わたしは、中学部に行くぞ!」「作業を頑張るぞ!」という気持ちになったようです。そして、体験では、リサイクル班と手工芸班で、缶つぶしやコースター作りをしました。上級生から上手にできたことを褒められ、早くもやる気満々の6年生です。

6年生は、実際に体験することで、達成感や満足感をもつことができ、保護者の皆さんは、中学部の作業学習について知っていただけたようです。



中学部の取組

作業学習と高等部見学

今年度は「手工芸班」「リサイクル班」「陶芸班」の3班で製品作りやリサイクル作業に取り組んでいます。働く上で必要となる態度・知識・技能などの基礎を培っていけるよう、繰り返し作業に取り組み、それぞれのペースで時間いっぱい作業を続ける姿、仕上がりを意識し、丁寧に取り組む姿など、たくさんの成長する姿がみられています。

後期作業学習週間には、高等部の校内実習の様子を見学しました。高等部の先輩の報告の仕方をまねするなど、高等部生が真剣に実習に向かう姿から、多くのことを学ぶ機会となりました。



高等部の取組

模擬面接会



1月23日(木)に、湯沢ロイヤルホテルにて、「模擬面接会-はあとなあ2025」が行われました。主催は湯沢雄勝障害者就業・生活支援センター-はあとなあです。就職面接の場面を設定し、面接時に自信をもって臨めるように学習し、本番の就職面接ではもっている力を十二分に発揮できるようにすることを目的としています。

本校高等部からも、4名の生徒が参加しました。地域企業の経営者の方や人事部の方、ハローワークの障害者雇用担当の方などが面接官となり、約15分という短い時間ではありますが、本番さながらの面接が行われました。生徒たちは、大変緊張した様子でしたが、自己紹介、進路希望、将来の夢などを一生懸命に伝えていました。将来に生きる良い経験になったかと思います。

地域とのつながり①「学校見学会」

1月30日(木)に「学校見学会」が行われ、地域企業の皆さんが、本校高等部の作業学習の様子を見学しました。主催は雄勝地域振興局で、障害者雇用への理解促進と、多様な人材が活躍する社会づくりに向けた取組の一環として行われたものです。

生徒の皆さんもいつも以上に真剣な様子で、それぞれの作業班で仕事を進めていました。参加された企業の方々からは、「生徒さんたちの集中力の高さ、丁寧さ、礼儀正しさに驚きました」、「作業学習製品をいつも愛用しています。特にご祝儀袋。これからもがんばってください」、「しっかりとした挨拶、報告の仕方に感動しました」、「小売り・サービス関係に興味のある方がいましたらお願いします」などのご意見、ご感想が聞かれました。生徒たちにとっても作業学習への意欲を高めるよい機会となりました。

地域とのつながり②「移行支援ネットワーク会議」

2月19日(水)に、福祉サービスの利用を希望する生徒のための移行支援ネットワーク会議が行われました。高等部3年生の皆さんは、卒業を迎え、学校生活から社会生活に移行します。この会議では、移行がスムーズに行えるように、市町村の福祉課、進路先となる福祉サービス事業所、相談支援事業所などの方々と一緒に、「個別移行支援計画」を基に卒業後の支援、地域生活におけるニーズなどについて確認しました。地域の応援団の方々とのつながりを大切にして、社会人としての生活を充実させてほしいと願っています。

編集後記

今年度の進路だより「ステップ」は、今号が最終号となります。

これまで、各学部に進路学習や、実習、作業学習週間、進路研修会、地域での様々な体験活動等について、情報提供してまいりました。次年度も、進路指導に役立つ情報を発信していきます。興味のある情報、掲載してほしい記事等ありましたら、何でも、お気軽にお知らせください。

今後とも、よろしくお願いいたします。

1年間、ご協力ありがとうございました